中世滑川の風景

堀江荘と新川地域の荘園

―平安時代末、滑川に「堀江荘」が出現した

観覧無料

堀江荘の中心と思われる滑川市堀江周辺

令和2年 12月5日（土）～令和3年 1月17日（日）

滑川市立博物館 3階 第2常設展示室

〒936-0835　富山県滑川市開676

開館時間／午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）
休　館　日／毎週月曜日（ただし1月11日（月）は開館、翌日休館）、年末年始（12月28日～1月4日）

ミュージアムカフェ 10：00～15：00（ラストオーダー 14：50）

主 催／滑川市教育委員会・滑川市立博物館

講 演 会 事前申込・先着順 参加無料 定員30名
久保 尚文氏（大山歴史民俗研究会会長）
「平安時代の修験と堀江荘」
12月12日（土）午後1時30分～2時30分

展示解説会 当日申込・先着順 参加無料 定員10名
担当学芸員
12月6日（日）、20日（日）、1月16日（土）
午前11時～11時20分、午後2時～2時20分

滑川の中世

滑川では、平安時代末に「堀江荘」という荘園が立荘（りっしょう）され室町時代まで存続していました。この荘園の範囲は現在の滑川市中心部から富山市や上市町の一部にかけての広大な範囲とされています。また文治2年（1186）には、堀江荘関係の古文書中に滑川市の名称の由来となった「**滑河**」が歴史上初めて登場しているほか、市内には現在も堀江荘の痕跡を感じさせる遺跡や地名などが多く残っています。

本展示では、このような堀江荘について、古文書や遺跡の調査成果等を通して紹介します。また「新保御厨（しんぼみくりや）」・「日置（ひおき）荘」をはじめとした新川地域の中世荘園や古代荘園の「丈部荘（はせつかべ）」などについてもあわせて紹介します。

講演会　事前申込・先着順　参加無料

講　　師　久保 尚文氏（大山歴史民俗研究会会長）
演　　題　平安時代の修験と堀江荘
日　　時　12月12日（土）午後1時30分～2時30分
会　　場　滑川市立博物館　2階　多目的ホール
定　　員　30名

【講演会申込方法】
下記の電話番号もしくはメールアドレスへ氏名・電話番号・同伴者の人数をご連絡ください。メールでお申し込みの場合は、確認メールを返信します。

上梅沢館跡（現：光明寺）に残る中世石塔群

展示解説会　当日申込・先着順　参加無料

日　　時　12月6日（日）、20日（日）、1月16日（土）
　　午前11時～11時20分、午後2時～2時20分
会　　場　滑川市立博物館　3階　第2常設展示室
講　　師　担当学芸員
定　　員　各10名
注 意 点　新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、解説会中は展示室への入室制限を行う場合があります。

魚躬遺跡 井戸跡（伊遠乃見村の痕跡か）

●**公共交通機関**
あいの風とやま鉄道（滑川駅）・**富山地方鉄道**（滑川駅／中滑川駅）から**コミュニティバス**〔のるmy car〕（大日・室山ルート）で20～25分、「博物館前」下車すぐ

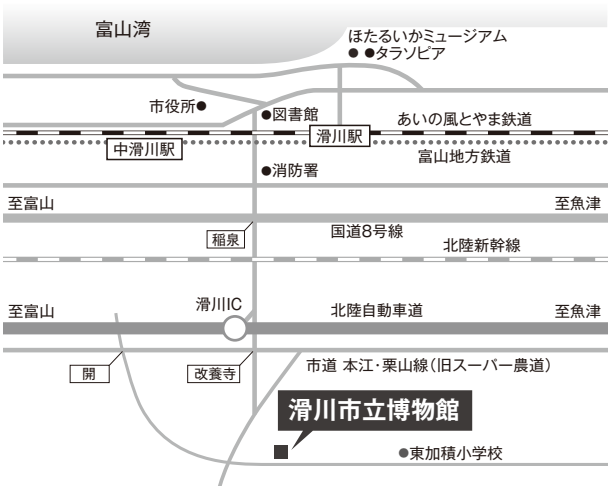
●**自動車**
北陸自動車道・滑川インターチェンジから約2分
国道8号線・稲泉交差点から約7分

●**コミュニティバス時刻表（大日・室山ルート）**

市民交流プラザ	11:44	14:16	16:46
博物館	12:05	14:37	17:07
市民交流プラザ	12:55	15:27	17:57

ミュージアムカフェ
10：00～15：00
（ラストオーダー 14：50）

ご来館の際は、新型コロナウイルス感染症防止対策にご協力ください。



お問い合わせ先

滑川市立博物館

〒936-0835　富山県滑川市開676
TEL／076-474-9200　FAX／076-474-9201
Mail／hakubutsukan@city.namerikawa.lg.jp

博物館HP